



子どもたちの笑顔が戻ってきました！

岡山県の緊急事態宣言が解除され、5月21日から学校が再開しました。4月21日から始まった臨時休校。約1か月の外出自粛の中で、子どもたちもストレスがたまっていたのでしょうか、登校後は多くの子どもたちが運動場に飛び出していきました。楽しそうに遊ぶ子どもたちの笑顔。やっと学校に子どもたちの明るい笑顔が戻ってきました。でも、大切なのはこれからです。子どもたちの健康を最大限守りながら、休校中にできていなかった学習を進めていかなければなりません。夏休みの短縮、学校行事の縮小や取りやめなどがあり、例年とは違う学校生活ではありますが、子どもたちと教職員、そして保護者の皆様と一っしょに乗り切っていければと思います。ご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



生長が楽しみです！



生活科の学習で1年生は「あさがお」の種をまき、2年生は「ミニトマト」の苗を植えました。どちらも夏の風物詩です。1年生は、きれいな花がたくさん咲くことを、2年生は、真っ赤な美味しい実がたくさんなることを楽しみに、毎日水やりをしています。

1年生「あさがお」



植木鉢に「ゴロ土」と「お花の土」を入れました。



指でくぼみを3つ作り、種を一つずつ入れました。



土の上に肥料を置き、たっぷり水をやりました。



植えて4日目。もう芽が出ました！早く大きくな～れ！

2年生「ミニトマト」



植木鉢に「野菜の土」を入れ、苗を植えました。



肥料をやりました。水は毎日たっぷりやります。



生活科の時間に形や大きさ、手触りなどを観察しました。



植木鉢は中庭の芝生に沿ってきれいに並べています。

学校長のつぶやき ～当たり前前のおかげたさ～

5月25日（月）に給食が再開しました。4月20日（月）に「カレーライス」を食べて以来、実に5週間ぶりの給食です。この日のメニューは「ごはん・タッカルビ・春雨スープ・冷凍ミカン・牛乳」でした。当初の予定では、5月25日は運動会の振替休業日でお休みはずだったので、本当なら食べることのできなかつたメニューです。（ちなみに「タッカルビ」が給食で出されたのは今回が初めてでした。）休校中は給食がなかったので、お子様のお昼ごはんに頭を悩ませた保護者の方が多かつたのではないのでしょうか。これは私たち教職員も同じでした。家でお弁当を作ってくる者、コンビニのお弁当を買ってくる者、カップ麺にお湯を注いで食べる者、冷凍パスタを電子レンジでチンする者、みんな毎日工夫しながら、何とかこの1か月を乗り切りました。12時30分になって給食室に行けばホッカホカの給食がいつもある、それが当たり前だと思っていたのですが、その当たり前前が当たり前ではなくなって、改めてその「ありがとう」を再認識しました。



緊急事態宣言の解除に伴い、手を洗う・マスクをする・人との間隔をあけるなど、「新しい生活様式」が示されました。その一つに「食事は対面ではなく横並び」「料理に集中、おしゃべりは控えめに」というものがあります。鹿田小学校では以前から、給食時間に「もぐもぐタイム」という時間を設定していたクラスがありました。カーリングの女子日本代表で有名になった「もぐもぐタイム」とは違い、給食の「もぐもぐタイム」というのは、給食を残さず食べることをねらいとして、給食時間の半分程度を「黙って食べる時間」にすることです。その「もぐもぐタイム」が、今は給食時間全体となり、全クラスで行われています。給食中はマスクを外すので、飛沫を飛ばさないようにするためですが、本来楽しいはずの給食時間が、なんだか味気ないものになってしまいました。

いつの間にか、マスク着用やアルコール消毒が「当たり前」になってきました。マスクをしなくても、アルコールで消毒しなくても生活できていた、あの「当たり前」の生活に、戻ることができるのでしょうか。半年後なのか1年後なのか・・・いつになるかは予想がつきませんが、マスクを外して笑顔で生活できる日が来ることを願って、今は頑張るしかありません。